

主要建設資材需給・価格動向調査結果

<建設資材モニター調査：平成21年6月1～5日現在>

国土交通省総合政策局建設市場整備課
課長補佐 吉野（内線24863）
上原（内線24854）
(電話) 03-5253-8111【代表】
03-5253-8283【直通】
ホームページアドレス <http://www.mlit.go.jp>

1. 調査の結果

【価格動向】石油は、「”横ばい”だが、”やや上昇”に近い」から「やや上昇」に変化。

- 石油は「やや上昇」。
- 石油は「やや上昇」である県が20以上あった。
- 前月に比べると、石油では「やや上昇」である県が13増えた。異形棒鋼では「やや下落」である県が10減った。

【需給動向】アスファルト合材（新材）は、3ヶ月連続して「やや緩和」。
アスファルト合材（再生材）は、「やや緩和」から「”均衡”と”やや緩和”の境界上にある」に変化。

- アスファルト合材（新材）は「やや緩和」。生コンクリート、骨材（砂利・碎石）、アスファルト合材（再生材）、H形鋼及び木材（製材）は「均衡」と「やや緩和」の境界上にある。セメント、骨材（砂・再生碎石）、異形棒鋼及び木材（型枠合板用）は「均衡」だが、「やや緩和」に近い。
- 骨材（砂利）、異形棒鋼、H形鋼及び木材（製材・型枠合板用）は「緩和」「やや緩和」である県が10以上あった。生コンクリート及びアスファルト合材（新材・再生材）は「やや緩和」である県が20以上あった。セメント及び骨材（砂・碎石・再生碎石）は「やや緩和」である県が10以上あった。
- 前月に比べると、骨材（碎石・再生碎石）では「やや緩和」である県が10減った。

【在庫状況】前月と比べて、在庫状況は大きく変わらなかった。

- 全ての資材が「普通」。

2. 調査の概要

<目的>

主要建設資材需給・価格動向調査（建設資材モニター調査）は、公共事業をはじめとする建設事業の円滑な推進を図るため、国土交通省が全国47都道府県における建設資材の価格、需給、在庫等の変動状況を、毎月モニターから情報を入手し、早期に把握しているものである。

<調査対象地域及び調査対象業者>

1) 調査対象地域

10地方、47都道府県

2) 調査対象業者

- 各都道府県ごとに、建設資材の供給側（生産者、商社、問屋、販売店、特約店）と需要側（建設業者）から、それぞれ20社程度のモニターを選定（需要側905社、供給側921社、合計1,826社）し、調査を実施している。
- 選定は、主に都道府県庁所在地に所在する業者から行っている。

3) 調査対象地域及びモニター数

地 方	実 施 都 道 府 県 名
北 海 道	北海道(23・22)
東 北	青森県(22・11)、岩手県(23・11)、宮城県(19・12)、秋田県(17・12)、山形県(23・12)、福島県(15・8)
関 東	茨城県(18・23)、栃木県(18・23)、群馬県(21・22)、埼玉県(16・25)、千葉県(21・23)、東京都(24・27)、神奈川県(17・23)、山梨県(17・23)、長野県(21・22)
北 陸	新潟県(26・26)、富山県(25・25)、石川県(26・26)
中 部	愛知県(13・17)、静岡県(13・15)、岐阜県(13・18)、三重県(12・17)
近 畿	福井県(23・19)、滋賀県(23・17)、京都府(22・24)、大阪府(24・19)、兵庫県(22・20)、奈良県(17・25)、和歌山県(20・22)
中 国	鳥取県(19・19)、島根県(20・22)、岡山県(18・18)、広島県(16・22)、山口県(20・18)
四 国	徳島県(10・15)、香川県(12・12)、愛媛県(16・15)、高知県(12・16)
九 州	福岡県(22・24)、佐賀県(18・22)、長崎県(25・16)、熊本県(18・25)、大分県(16・19)、宮崎県(24・24)、鹿児島県(31・26)
沖 縄	沖縄県(14・19)

※（ ）内の数字は、各都道府県のモニター数（需要側・供給側）

<調査対象資材> 7資材13品目

- セメント 普通ポルトランド・バラ物
- 生コンクリート 建築用 (21N/mm²-18cm-25mm)
- 骨材 ①砂、②砂利、③碎石、④再生碎石
- アスファルト合材 ①密粒度アスコン13（新材）
②密粒度アスコン13（再生材）
- 鋼材 ①異形棒鋼 (SD295A) D16
②H形鋼 (200×100×5.5×8mm)
- 木材 ①杉正角・特1等 (3.0m×10.5×10.5cm)
②型枠用合板・輸入品 (12.0×900×1,800mm)
- 石油 軽油1、2号

<調査項目>

各調査対象資材について、以下の項目等についての調査を実施している。

- 現在及び将来(3ヶ月先)の価格動向(下落・やや下落・横ばい・やや上昇・上昇)
- 現在及び将来(3ヶ月先)の需給動向(緩和・やや緩和・均衡・ややひつ迫・ひつ迫)
- 現在の在庫状況(豊富・普通・やや品不足・品不足)

表—1

価格・需給動向及び在庫状況別 都道府県数
 <平成21年6月1~5日現在>

資材名称・規格		セメント	生コン	骨 材				アスファルト合材		異形棒鋼 D16	'200 × 100	木 材		石油 軽油 1.2号
				パラ物	2IN/mm ²	砂	砂 利	碎 石	再生碎石			新 材 密粒度 アスコン	再生材 密粒度 アスコン	
調査月現在の価格動向	1.0~1.5 (下 落)													
	1.6~2.5 (やや下落)				(1) 1					(2) 8	(3) 12	(1) 2		
	2.6~3.5 (横ばい)	(39) 41	(44) 46	(44) 45	(42) 44	(44) 45	(47) 47	(39) 44	(43) 45	(41) 39	(39) 32	(40) 39	(42) 42	(16) 19
	3.6~4.5 (やや上昇)	(8) 6	(3) 1	(3) 2	(4) 2	(3) 2		(8) 3	(4) 2	(4) 2	(4) 1	(1) 4	(4) 28	(31)
	4.6~5.0 (上 昇)											(1) 1		
調査月現在の需給動向	1.0~1.5 (緩 和)				(1) 1					(1) 1	(1) 2	(3) 3	(2) 2	
	1.6~2.5 (やや緩和)	(12) 15	(17) 23	(11) 15	(15) 18	(10) 15	(9) 14	(19) 29	(13) 25	(7) 16	(12) 17	(7) 14	(9) 13	(5) 10
	2.6~3.5 (均 衡)	(34) 32	(30) 24	(36) 32	(31) 28	(37) 32	(38) 33	(28) 18	(34) 22	(38) 30	(33) 26	(33) 25	(35) 31	(42) 37
	3.6~4.5 (ややひつ迫)	(1)								(1) 1				
	4.6~5.0 (ひつ迫)													
調査月現在の在庫状況	1.0~1.5 (豊 富)	— —	— —	3	8	5	4	— —	— —	1		3	2	— —
	1.6~2.5 (普 通)	— —	— —	42	36	40	40	— —	— —	37	36	28	32	— —
	2.6~3.5 (やや品不足)	— —	— —				3	— —	— —	1	2			— —
	3.6~4.0 (品不足)	— —	— —					— —	— —					— —

注1) 現在の価格・需給動向のカッコ内の数字は、将来(3ヶ月先)の価格・需給動向の予想。

注2) 現在及び将来の価格動向は、1(下落)、2(やや下落)、3(横ばい)、4(やや上昇)、5(上昇)として、各モニターからの回答を平均した価格動向別都道府県数

注3) 現在及び将来の需給動向は、1(緩和)、2(やや緩和)、3(均衡)、4(ややひつ迫)、5(ひつ迫)として、各モニターからの回答を平均した需給動向別都道府県数。

注4) 現在の在庫状況は、1(豊富)、2(普通)、3(やや品不足)、4(品不足)として、各モニターからの回答を平均した在庫状況別都道府県数。

石油(軽油 : 1、2号)

地 方	都道府県	価格動向	需給動向	在庫状況
北海道	北海道	3.8	2.3	—
東 北	青森県	3.9	3.0	—
	岩手県	3.5	2.8	—
	宮城県	3.7	2.6	—
	秋田県	3.8	3.1	—
	山形県	3.6	2.8	—
	福島県	3.5	3.0	—
関 東	茨城県	3.5	2.4	—
	栃木県	3.4	2.5	—
	群馬県	3.9	2.9	—
	埼玉県	3.4	2.9	—
	千葉県	3.6	2.2	—
	東京都	3.5	2.7	—
	神奈川県	3.6	3.0	—
	山梨県	3.8	2.5	—
	長野県	3.7	2.5	—
北 陸	新潟県	3.8	2.9	—
	富山県	3.4	3.0	—
	石川県	3.9	2.6	—
中 部	岐阜県	3.5	3.0	—
	静岡県	3.2	3.0	—
	愛知県	3.7	3.3	—
	三重県	3.7	3.0	—
近 畿	福井県	3.5	3.0	—
	滋賀県	3.7	3.2	—
	京都府	3.8	3.2	—
	大阪府	3.8	2.5	—
	兵庫県	3.4	2.6	—
	奈良県	3.6	2.6	—
中 国	和歌山県	3.5	3.0	—
	鳥取県	3.3	3.0	—
	島根県	3.7	2.8	—
	岡山県	3.9	2.7	—
	広島県	3.4	3.0	—
	山口県	4.0	3.0	—
四 国	徳島県	3.3	2.7	—
	香川県	3.7	2.5	—
	愛媛県	3.5	3.0	—
	高知県	3.9	2.7	—
九州・沖縄	福岡県	3.6	2.8	—
	佐賀県	3.6	3.0	—
	長崎県	3.3	2.7	—
	熊本県	3.7	2.8	—
	大分県	3.7	2.4	—
	宮崎県	3.7	2.5	—
	鹿児島県	3.5	2.8	—
	沖縄県	2.7	3.1	—

	価格動向	需給動向	在庫状況
合 計 値	169.2	131.6	—
平 均 値	3.60	2.80	—
前月平均値	3.40	2.74	—
前月比(平均値)	0.20	0.06	—

<参考> 地域別動向

地 域		価格動向	需給動向	在庫状況
北海道	(1道)	3.8	2.3	—
東 北	(6県)	3.7	2.9	—
関 東	(1都8県)	3.6	2.6	—
北 陸	(3県)	3.7	2.8	—
中 部	(4県)	3.5	3.1	—
近 畿	(2府5県)	3.6	2.9	—
中 国	(5県)	3.7	2.9	—
四 国	(4県)	3.6	2.7	—
九州・沖縄	(8県)	3.5	2.8	—

注)上記の指数は、

- イ. 現在の価格動向を、1(下落)、2(やや下落)、3(横ばい)、4(やや上昇)、5(上昇)として、各モニターからの回答を各都道府別に集計し、その平均により算出している。
- ロ. 現在の需給動向を、1(緩和)、2(やや緩和)、3(均衡)、4(ややひつ迫)、5(ひつ迫)として、各モニターからの回答を各都道府県別に集計し、その平均により算出している。
- ハ. 現在の在庫状況を、1(豊富)、2(普通)、3(やや品不足)、4(品不足)として、各モニターからの回答を各都道府県別に集計その平均により算出している。